

# News Release

2024年2月5日  
日本製鉄株式会社

## メカニカル鋼管で SuMPO 環境ラベルプログラム 「エコリーフ宣言」の認証を新たに 2 件取得

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）は、カーボンニュートラルを推進するお客様のニーズに応えるため、電縫メカニカル鋼管（以下、ERW）と継目無メカニカル鋼管（以下、SML）の 2 品種において、一般社団法人サステナブル経営推進機構（SuMPO）の「SuMPO 環境ラベルプログラム」に基づく「エコリーフ宣言」<sup>\*1</sup>の認証を新たに 2 件<sup>\*2</sup>取得しました。



サステナブル経営推進機構

日本製鉄のメカニカル鋼管（ERW・SML）は、自動車や建設・産業機械等、機械構造用の分野において使用され、優れた品質によって広く好評いただいています。また、日本製鉄がこれまで蓄積してきた加工・利用の豊富な技術と鋼管製品の持つ品質特性を活かし、部品の軽量化及び高強度化等、CO<sub>2</sub>排出量の削減に寄与する商品群<sup>\*3</sup>の開発も行ってきました。

エコリーフ宣言は、LCA（ライフサイクルアセスメント）手法を用いて、資源採取から製造、物流、使用、廃棄・リサイクルまでの製品のライフサイクル全体を考えた環境情報を定量的に開示する EPD 認証制度の一つです。お客様はこれにより、鋼管製品のライフサイクルでの環境負荷を客観的に評価することが可能となり、今後注目される公共調達物品における CO<sub>2</sub> 排出量表示への動き等への対応も容易となります。さらに、環境負荷低減に繋がる鋼管商品群の活用と合わせて、サプライチェーン全体でのカーボンニュートラルに向けた取り組みをより一層強化することができます。

日本製鉄が認証を取得したエコリーフ宣言は、2019年12月、H形鋼で最初に取得して以降、各品種・製品で取得を進めてきました。今回、メカニカル鋼管での認証取得は初めてで、これまでの合計 54 件となり、日本製鉄の鉄鋼製品の大半をカバーしています。世界でカーボンニュートラルに向けた動きが加速している中、お客様からは、使用する素材までも含めた評価を求められる分野が増えています。

日本製鉄は、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求するとともに、国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)にも合致した、リサイクル性に極めて優れ、環境に優しいサステナブルな素材である鉄鋼製品の環境性能開示に今後も積極的に取り組んでいきます。

※1：SuMPO 環境ラベルプログラム エコリーフ宣言

国際規格 ISO 14025 に準拠した「タイプⅢ環境宣言」で、いわゆる EPD (Environmental Product Declaration) の1つ。EPD は、宣言された製品の資源採取から製造、物流、使用、廃棄・リサイクルに至るまでの定量的な環境情報を示しており、エコリーフ宣言は（一社）サステナブル経営推進機構が管理運営しています。

※2：認証取得した2件

JR-AW-23018E メカニカル鋼管 (ERW)

JR-AW-23019E メカニカル鋼管 (SML)

※3：「中空スタビライザ用鋼管」「中空ドライブシャフト用鋼管」「トーションビーム用鋼管」  
「機械構造用高張力鋼管「SUMISTRONG®」」等

(参考) NSCarbolex Solution は、社会における CO2 排出量削減に寄与する高機能製品・ソリューション技術を総称する日本製鉄のブランドです。

<https://www.nipponsteel.com/product/nscarbolex/solution/>



(参考) 鋼管商品カタログにつきましては、以下の URL よりご参照ください。

<https://www.nipponsteel.com/product/pipe/catalog/>

当社ホームページも併せてご覧ください。

以 上

お問い合わせ先：総務部広報センター 03-6867-2977、2135、2146、3419